

令和6年度 環境部組織目標

組織名	環境部	部長	環境部長 木山 浩
組織の目的・方向性	市民、団体、事業者とのパートナーシップのもと、温室効果ガスの排出を大幅に削減し、脱炭素社会を構築するとともに、更なるごみの減量・資源化により循環型社会を推進します。 また、自然との共生のもとで、持続的発展が可能な社会を構築し、水辺空間や豊かに広がる田園、里山など、多様で美しい自然環境や良好な生活環境を将来世代に引き継いでいきます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・市域から排出される温室効果ガスの削減量（平成 25 年度比） ・1 人 1 日当たりごみ総排出量 ・市内の陸域における生物多様性保全に資する地域の割合 ・新潟市の生活環境における大気・水・音などの状況が良好だと思ふ市民の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

環境部組織目標

環境部では、市域の温室効果ガス排出量を削減する「地球温暖化対策実行計画（地域推進版）」の推進に取り組むとともに、「国際湿地都市 NIIGATA」を内外に広く PR するため、ラムサール条約の湿地自治体認証を活かしたプロモーションなどに取り組みます。

また、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の優先順位に従い、廃棄物の減量と適正処理を進めるとともに、安定かつ効率的な処理体制を構築するほか、環境負荷の低減を図るため、良好な生活環境の保全を図っていきます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 地域脱炭素をけん引するため、市役所も CO2 を多量に排出する大規模な事業所のひとつとして、公共施設の ZEB 化促進や再エネ導入など、市の事務事業にかかる脱炭素化に率先して取り組みます。
- 2 「国際湿地都市 NIIGATA」を確立するため、ラムサール条約の湿地自治体認証に基づく国際的な都市ブランド化及び地域における湿地の保全や賢明な利用の促進など、ラムサール条約都市としての取組みを推進します
- 3 廃棄物処理施設の更新・統合により、安定かつ効率的な処理体制を構築します。
- 4 きれいなまちづくりの推進のため、身近な地域の環境美化に取り組む活動を支援します。
- 5 安心・安全な市民生活に影響を与える環境負荷の低減を図るため、計画的な環境調査を継続的に実施し、環境の状況に応じた取組につなげることで良好な生活環境を確保します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	4
取組結果	【重点目標 1】達成見込 ○ 目標達成の見込み（R7 年 8 月ごろ確定予定） 【重点目標 2】達成 ○ 2024 年 10 月に東営市（中国）で開かれた第 3 回会議にて、2026 年（令和 8 年度）の本市開催が決定しました。 【重点目標 3】達成 ○ 新焼却施設整備事業については、事業者評価委員会にてまとめた評価方法及び発注書類に基づいて、総合評価一般競争入札により事業者を決定しました。 ○ 安定かつ効率的な処理体制の構築に向け、新焼却施設の整備に加えて、令和 8 年度からの粗大ごみ処理の統合に向け、新田清掃センターに粗大ごみ用破砕設備の増設に着手しました。 ○ 昨年度廃止した資源再生センター及び東処理センター跡地については、利用の申し出があったことから、財産活用課との協議により、当該跡地は庁内利用の方針としました。 【重点目標 4】未達成 ○ コロナ禍では地域のボランティア清掃への参加人数は大幅に減少したが、それ以降、年々増加しており、今年度も前年度比で 2,000 人程度の増となった。広報紙や SNS などを活用し、ボランティア清掃活動や費用補助制度などの PR を図ったが、目標値に届かなかった。 【重点目標 5】達成 ○ 年間計画に基づき、大気、水質及び騒音の環境調査を継続的に実施しました。 ○ 調査結果の公表や発生源に対する監視や指導により、市民の良好な生活環境が保全されるよう努めました。				
今後の方向性	【重点目標 1】 ○ 温暖化対策実行計画（市役所率先実行版）に基づき、PPA 等太陽光発電設備の導入、ZEB の推進、次世代自動車の導入について、全庁を挙げて推進していきます。 【重点目標 2】 ○ ラムサール条約都市推進プロジェクト・チームと連携しながら、引き続き「国際湿地都市 NIIGATA」のブランド化及び潟の魅力発信に取り組んでいくとともに、令和 8 年秋に開催される国際会議に向けて準備を進めていきます。 【重点目標 3】 ○ 新焼却施設整備事業については、決定した事業者と契約を行い、建設に着手します。 ○ 破砕設備の更新については、適切な施工管理を行い、年度内の設置完了に向け事業を進めます。 【重点目標 4】 ○ ごみの収集や活動費用の一部補助などボランティア清掃活動への支援を行い、地域の環境美化活動の活性化を推進していきます。 ○ また、広報誌や SNS などを活用し、ボランティア清掃活動や費用補助制度などの PR を図り、実施団体の拡大に取り組みます。 【重点目標 5】 ○ 計画的な環境調査を継続し、必要な対策につなげることで、良好な生活環境の保全を図ります。				